

9/27 平成26年度 那覇市総合防災訓練

震度5弱の地震と高さ5mの津波警報が発令されたことを想定し、平成26年度 那覇市総合防災訓練が行われました。訓練では、市役所本庁5階を対策本部とし、波の上うみそら公園で救出・救護訓練、真嘉比・城岳小学校では、収容避難所設置運営訓練が行われました。市民や関係機関あわせて31団体、約2000名が参加する訓練となりました。今後も地域の防災力・地域力の強化を図ってまいりますので、みなさんのご協力を、ゆたさるぐとう うにげさびら。



10/10 第19回 「なぐやけの碑」慰霊祭

那覇のまちが焦土と化したあの十・十空襲から70年ー。10月10日、若狭海浜公園内にある「なぐやけの碑」前で、慰霊祭が執り行われました。台風19号の接近による悪天候の中、遺族や関係者らが集まり、戦没者へ鎮魂の祈りを捧げました。「なぐやけの碑」は、沖縄戦における市民の戦没者を慰霊するとともに、恒久平和への強い決意を世界の人々に伝えるためのモニュメントとして、1996年に建立されました。慰霊碑には十・十空襲で亡くなられた方々を含め、市出身戦没者2万9千余柱の名簿が奉納されています。

10/13 健康な心身をつちかう ～体育の日 無料開放～

国民がスポーツに親しみ、健康な心身をつちかう日として制定された「体育の日」。市では「第9回スポーツフェスティバルinなは」を開催し、無料開放した那覇市民体育館、首里石嶺プール、漫湖公園市民庭球場には多くの市民が訪れ、心地よい汗を流しました。体力測定に参加した国場在住の新垣ヨシ子さん(77)は週に3日、老人センターに通い運動を続けています。「普段から体調管理に努めているので、今日の測定会を楽しみにしていました」と話す新垣さんの体力年齢は40歳～44歳。測定結果に満足の様子でした。

10/13 第13回 ふれあいジャズフェスティバル

市内の小・中学生がジャズにチャレンジする「ふれあいジャズフェスティバル」が那覇市民会館で行われました。このイベントは、沖縄JAZZ協会のプロのミュージシャンから小・中学生が直接指導を受けながら、表現する楽しさを学び、平和都市「那覇」を誓うとともに、平和を愛する心をジャズの音色に託し、発信する目的で開催しています。今回は小学校13校、中学校5校の児童・生徒のみなさんが参加し、「A列車で行こう」や「ありのまま」などが演奏され、会場は温かい拍手に包まれました。



10/14 那覇高校女子バレー部 優勝報告

第67回全日本高校選手権(春の高校バレー)大会に出場する那覇高校女子バレー部のみなさんが市役所を訪れました。那覇高校女子バレー部は、県大会で昨年の優勝校である首里高校に見事逆転勝利し、48年ぶり2度目の優勝を飾りました。キャプテンの大宜味実歩さんは「みなさんからの協力や応援などで優勝できました。全国の選手に負けないように選手一丸となって戦っていききたいと思います」と語り、副キャプテンの砂川千菜津さんは「3年間の積み重ねの成果を精一杯込めるように、練習も課題もクリアし高いレベルでがんばっていきたいです」と全国大会に向けて意気込みを語りました。

10/19 「第44回 那覇大綱挽まつり」開催!

台風で1週間延期となっていた「第44回 那覇大綱挽まつり」が、10月19日に開催され、27万3千人(主催者発表)の観客がまつりに訪れました。メインイベントの大綱挽には、市民だけでなく、観光客、外国人が参加し、東西に分かれて、全長200m、重さ43トンの大綱を「ハイヤ、ハイヤ」の掛け声にあわせ、力いっぱい引き合いました。30分にわたる熱戦の結果は、引き分け。通算成績は、東13勝西13勝15引き分けとなりました。大綱挽の終了後、大勢の観客が綱の上で写真を撮り、縁起物である綱を持ち帰るなどしていました。

10/19 「第21回 なは青年祭」 開催!

パレットくもじイベント広場で「那覇が唄う 那覇が踊る 青年達の島心」をテーマに『第21回なは青年祭』(主催:那覇市青年団体連絡会)が開催されました。「なは青年祭」は、市内各地域で、旗頭やエイサーなど伝統芸能の継承・発展に努めている青年団体が一同に会し、日頃の成果を披露することで、青年団体相互の交流を図り、那覇の地域振興の一助になるようにと年1回開催されています。多くの家族連れや観光客の方々が同会場を訪れ、那覇の青年達の熱い演舞に大きな拍手をおくっていました。

10/19 思い思いのスタイルで楽しむ ～ひやみかち なはウォーク2014～

爽やかな秋晴れのもと、市民の健康を推進するため、市では初のウォーキング大会を開催しました。約4,000名の参加者は、まち歩きが楽しめる5つのコースから自分に合ったコースを選択。その中で、いちばん長い19.8kmを歩く首里・識名を巡る「御城上り(うぐしくぬびい)コース」では、ペースを崩すことなく、ひたすら歩く県内ウォーキング大会常連さんのほか、息子に史跡を説明しながら歩くお父さん、アイスクリームを食べながら歩く女子グループなど、思い思いのスタイルでウォーキングを楽しんでいる姿がみられました。

